

広報 きたうら

昭和60年9月号 No.248

発行 北浦村役場 編集 調査企画室
茨城県行方郡北浦村山田2564-10 ☎311-17☎0291-5-2111(代)

村民憲章

- 心身を鍛え教養を深め
文化の香り高い村をつくりましょう。
- 北浦の湖水と緑豊かな環境を大切に
美しく清潔な村をつくりましょう。
- 時間ときまりを守り
秩序ある平和な村をつくりましょう。

- お互いに助け合いまごころの通う
明るい村をつくりましょう。
- 仕事に誇りをもち
活力ある村をつくりましょう。

村の花／きく、村の木／ひのき、村の鳥／うぐいす

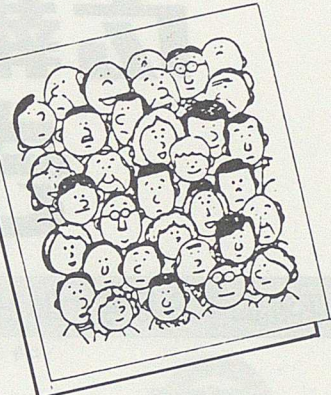
住民意識調査の結果 道交法の一部が改正 北浦科学展 成人おめでとう 国勢調査にご協力を

ビーカーをのぞく真剣な目……。食品添加物の実験が行われています。食品添加物についていろいろと社会問題になっているなか、茨城県消費者リーダー講座終了生による研修会（I S L研修会）が、9月2日、本村を会場として開かれました。

本村からも20名の婦人たちが参加、真剣な目なぞして、実験を見守っていました。

I.S.L





こんな村にしたいな

住民意識調査の結果から ②

農業を中心に、商工業の さかんな村を

要望施設のベスト3は 病院・道路・子供の遊び場

前号に引き続き、今年六月に実施した
村民意識調査の結果から、行政に対す
る要望や、村の将来像についてお聞き
した後半の部分について報告します。

現在、生活していく
うえで不足を感じてい
る施設はありますか。
要望の強い順に三つま
で記入して下さい。
(二十四項目)

問4
問四では、今の日常生活の
なかで不足を感じている、あ
るいは不便に思っている公共
施設は何ですか、という質問
について道路、集会施設、各
種運動場など二十四の施設の中
から要望の強い順に三つまで
記入していただきました。
これを選択した施設すべて

について見ると、「病院、医
院」と「道路の舗装や拡幅」
の二つをあげている人が多く
いずれも回答者の半数がこれ
を要望しています。次いで「
子どもの遊び場」が多く、四
分の一を超えます。この三つ
以外で十五%以上の人があげ
ているものには「防犯灯」「
火葬場」「排水溝」「下水道
」があります。(下記表)

要望順位の第一番目にあげ
られた施設だけについてみる
と、最も要望の多いのは「道
路の舗装や拡幅」(三十一%)
と「病院・医院」(二十一%)
の二施設となっており、次に
「子どもの遊び場」では、
児童館だけをみると、現在十
九の児童館がありますが、鉄
棒、すべり台、ブランコなど
用具のそろっているものは十
五あります。しかし、この中

「子どもの遊び場」(九%)
「防犯灯」(五%)と続きま
す。この二つ以外で十%を超
えたものはなく、両施設に対
する要望がいかに強いかがう
かがえます。
ところで、要望の多い三施
設の現状をみると、「病院・
医院」では、今年五月分の国
・保受診者件数四千四百十九
件中九%の三百八十七件が村
内の病院にかかったことにな
っています。つまり残り九十%
以上の人が村外の医療施設に
かかっていることとなります。
「道路の舗装や拡幅」は、
現在の村道延長距離が五百六
十二キロメートル。一、二級
道の舗装率はそれぞれ九十九
%、八十七%となっています
が、全体では十九%となつて
しまします。北浦村から大阪
ほどもある村道延長距離の中
で改良(拡幅)や舗装のでき
る距離は一年度に四、五キロ
メートル程度です。

でも遊び用具が十分に整って
いるものは多くありません。
現状からも、要望の理由が
裏づけられます。

表1 要望施設 (重複回答)			
道路の舗装	46%	集会施設	12%
橋	2%	村営の水道	5%
排水溝	15%	下水道	15%
カーブミラー	11%	テニスコート	2%
歩道	10%	野球場	1%
消火栓	9%	サッカーコート	1%
子供の遊び場	28%	バレーコート	1%
防犯灯	18%	村民体育館	9%
		他の運動場	2%
		ゲートボールコート	4%
		老人施設	7%
		病院・医院	51%
		公園・園	10%
		村営住宅	2%
		火葬場	16%
		その他	2%

問5
北浦村の発展を考え
た場合、あなたは、村
政は何に重点をおいて
行くべきだとお考えに
なりますか。三つ選ん
で下さい。(十四項目)

ここでは、村政の重点は何
において行くべきか、という
ことでしょうか。いましたが、「
農業の振興を図る」と「病院
を誘致する」がいずれも

半数を超えます。次いで「北
浦の水質浄化や自然保護に力
を入れる」「工場誘致を図る」
「学校教育の充実を図る」な
どが二十%を超えています。
特徴としては、「農業振興」
の比率が南・北高岡、小幡、
行戸、小貫、次木地区ではと
くに高く、いずれもほぼ七割
に及んでいます。
また、年代別でみると二十
〜二十九歳の若年層では「自
然保護」(四十三%)を要望
する人が多くなっています。

問6
北浦村をいつそう住
みよい村にするために
は、今後、どんな施策
に力を入れてほしいと
思いますか。分野ごと
に二つ選んで下さい。

問六では、村の施策で特に
力を入れてほしいと思うもの
を①教育文化②保健、福祉③
生活の安全④生活環境⑤産業
振興という五つの分野に分け
て、それぞれの中から選んで
いただきました。

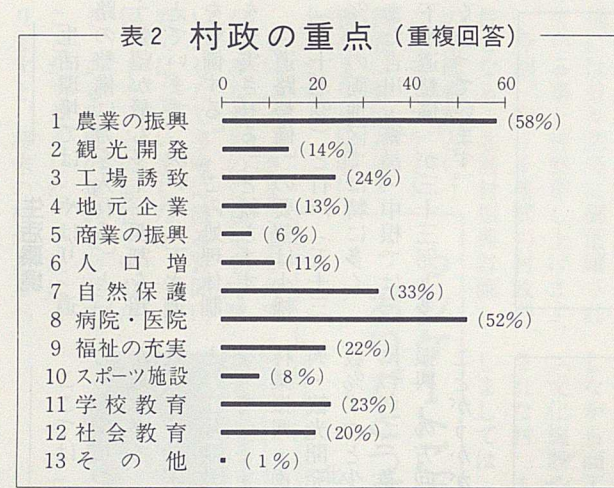
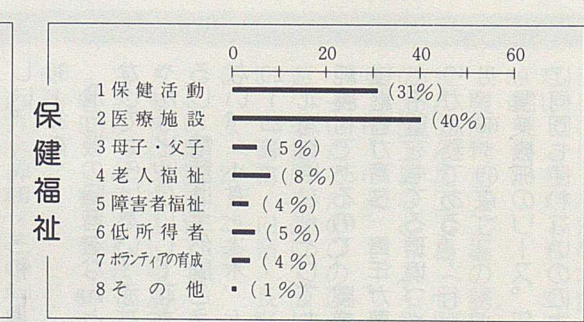
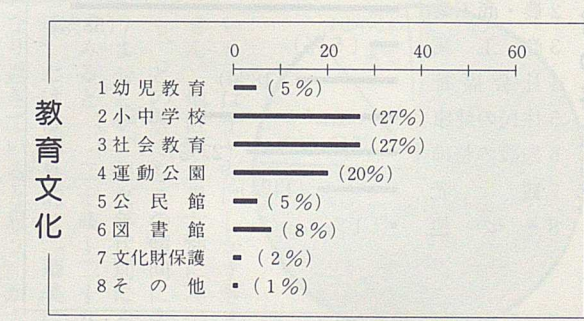
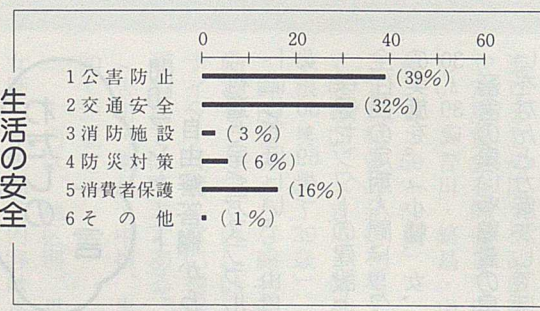


表2 村政の重点 (重複回答)

「1. 農業の振興を図る」 → 「農業振興」
「3. 工場誘致を積極的に図る」 → 「工場誘致」
「4. 地元企業の育成を図る」 → 「地元企業」
「5. 商業の振興を図る」 → 「商業振興」
「6. 住宅地を増やし、人口増を図る」 → 「人口増加」
「7. 北浦の水質浄化や自然保護に力を入れる」 → 「自然保護」
「8. 病院・医院を誘致する」 → 「病院誘致」

「社会教育活動を充実させ
る」または「小中学校の教育
を充実させる」を要望する人
が二十七%ずつであり半ばし
ています。次いで「運動公園
などスポーツ・レクリエーシ
ョン施設を充実させる」が二
十%と多くなっており、その
ほかの施策を要望する人はい
ずれも数%ずつと少なくなっ
ています。

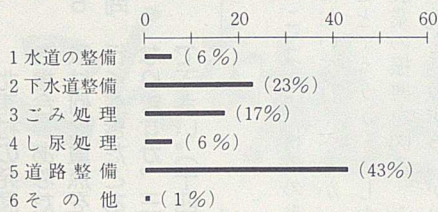
「水質汚染・悪臭防止等公
害防止に力を入れる」と「交
通安全施設の整備をする」の
二つを要望する人が三、四分
割と多く、次いで「消費者の利
益保護に力を入れる」の要望
が多くなっています。地区別
にみると、成田・三和地
区では「公害防止」の要望が
五十七%と、特に多いが目
につきます。



生活環境

生活環境では、やはり「道路の整備に力を入れる」という要望が最も多く、四割を超えています。次いで「下水道を整備する」「ごみ処理体制を充実させる」と続きます。「道路整備」の要望は小幡（五十七％）と行戸（五十三％）の両地区では特に多く、また吉川・繁昌・中根では「下水道整備」が三十三％と多くなっています。

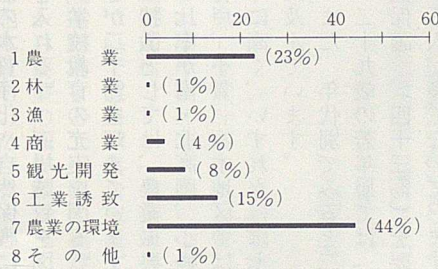
生活環境



産業振興

ここでは「農業後継者に魅力ある環境づくりを進める」が最も多く、次いで「農業の近代化、効率化対策を進める」と「工場誘致を図る」が多くなっていますが、そのほかの林業振興・漁業振興・商業振興・観光開発などはいずれも数％ずつと少なく、産業振興について、多数の人は「農業振興」の方向を要望していることがうかがえます。なお、

産業振興



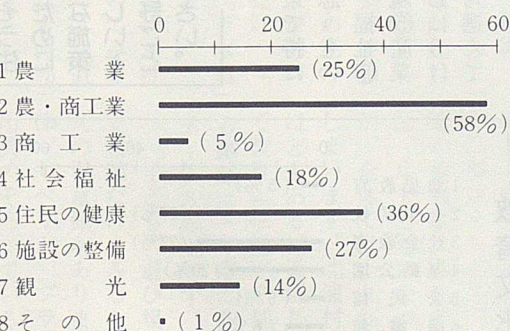
小幡地区では「農業後継者に魅力ある環境づくりを進める」が五十五％ととくに多くなっています。

あなたは、北浦村が将来、どのような姿に発展することを望みますか。二つまで選んでください。

(九項目)

問7では、みなさんが、北浦村の将来像をどのように思い描いているかをうかがいました。このなかで最も多い将来のイメージは「農業を中心産業としながら、商工業の盛んな村」で約六割の人が望んでいます。次いで「住民の健康づくりを重視した村」が約四割と多くなっています。そのほかでは、

村の将来像



「文化施設や教育施設が整備された村」「農業の盛んな村」「社会福祉の充実した村」がいずれも二割を超えています。しかし、「観光やレクリエーション施設が整備された村」「商工業の盛んな村」を要望する人は少ない結果となっています。ここには、農業の発展が商工業の発展にもつながるという考え方がうかがえます。また、年代別にみると、若い年代で「文化施設や教育施設が整備された村」を要望する人が多いのが特徴的です。

わたしの一言

問10 アンケート 自由解答欄から 村道も早くアスファルトにしてほしい。(山田女、60～69歳) 保健センターの建設と全住民の定期人間ドックの実施を。(小幡、女、30～39歳) 畜舎の臭いや鶏糞の臭いをなんとか解決してほしい。(成田・三和、男、30～39歳) 飛行機の騒音をなんとかしてもらいたい。赤ちやんはビックリして起きるし、電話は全然聞こえない。(小貫・次木、女、20～29歳) 北浦村はなんとしても純農村であるので、農業後継者が育ち、青年が夢と希望をもてる環境づくりが急務である。(行戸男、60～69歳) 農業機械のリース。年に何回も使わないのに大金出して買うのはもった

村が住みよい魅力ある地域であるためには 今後の村の人口についてどのようにお考えになりますか。

(五項目)

現在、北浦村の人口は一万一千人程度でほぼ横ばい状態となっています。そこで、問8では村の人口規模についてうかがいました。

収穫の秋を迎え、村民の皆様には日々活発に御活躍されている事と拝察申し上げます。今回、向う十年間の村政の柱となる「北浦村振興計画」の基礎資料ということでアンケート調査に御協力頂き衷心よりお礼申し上げます。

なにぶん、さまざまな角度からみなさんご意見を拝聴いたしたく多岐に渡る質問内容ではございましたが、六十四パーセントの回答をいただき、ある程度の集約をいたすことができました。それによりますと、将来の村のあるべ

アンケート協力 ありがうございました

北浦村長 磯山 伸 知



将来人口については「現在程度がよい」と考えている人が最も多く、全体の三分の一に及んでいます。「一割程度の人口増がよい」あるいは「二・三割程度の人口増がよい」と考えている人はそれぞれ二割ほどです。「現在程度」と

「一割程度の人口増」とを合わせるとちょうど五十％になり、半数の人は、現状程度か少し増加した程度の人口規模を望ましいと考えています。

き姿としては「農業を中心としながら商工業の盛んな村」「文化施設や教育施設が整備された村」また、要望施設としては「病院・医院の設

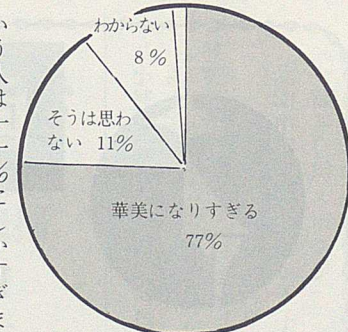
最近、冠婚葬祭が華美になり過ぎていますという意見が聞かれますが、この点についてどうお考えですか。

(三項目)

問9では特に冠婚葬祭についてうかがいました。その結果八割近くの人が「華美になり過ぎています」と回答しています。「そうは思わない」と

ご意見の頂戴いたしました。私も政治は村民と手をたずさえて進めて行く事が最善と思っていますので、ご意見、

は予算との関係もございしますが、即実行という事が一番大切であると思っております。今後の「北浦村振興計画」の策定ならびに実施にあたりまして、村民の皆様にもよろしく御協力のほどお願い申し上げます。



いう人は十一％にしかすぎません。地区別、男女別にみても、どの層でもこの傾向に変わりませんが、ただ年代別にみると、「二十歳～二十九歳」だけは例外的に「華美になり過ぎています」という意見が六十二％と少なく、「そうは思わない」が二十一％と多くなっています。

この問9に関して、「華美になり過ぎています」と答えた方には、問9の1として、冠婚葬祭の簡素化について回答していただきました。この中で、簡素化のあり方としては「村が中心となり簡素化運動を進めてほしい」と答えた方が八十％となっています。これに対し「各自の考え方にまかせてよい」は十七％と、村全体での簡素化を要望している人が多いことがわかります。

いないし、なかなか買えない。(行戸、男、30～39歳) 農産物加工工場の誘致れんこん加工工場、セリの缶詰工場など。(小幡男、60～69歳) 子供たちがのびのびと遊べる場所を設けてほしい。(両宿・内宿・長野江、女、20～29歳) この意識調査で我々老人も村行政に少し参加できたような気がします。(成田・三和、男、60～69歳) 活力ある村づくりを推進するために、村政教室や対話集会を開催してほしい。(吉川・繁昌・中根、男、50～59歳) 北浦村史の発行を考えてほしい。(吉川・繁昌中根、男、30～39歳) 鉾田町のような総合運動場をつくってほしい。ナイター設備もない村民運動場では不満である。(吉川・繁昌・中根、男、20～29歳)

(一)内は、地区別、男女別、年齢別。内容は本文を簡潔にしました。

9月1日

道路交通法の一部が改正されました

道路交通法の一部が改正され、主なものは九月一日以降段階的に施行されます。今回の改正は、ここ数年増え始めた死亡事故を減少させるとともに「車社会」の新しい秩序づくりを目指すものです。



▲シートベルト着用のよびかけ

シートベルトが着用義務に

今回の改正で最も特徴的なことは、シートベルトの着用が義務付けられたことです。これは現在のシートベルト着用率が三割程度であり、かつシートベルトを付けていたならば助かるケースが多いことを考慮したものです。

改正では、ドライバーはもちろん助手席に座る人にもシートベルトを着用させてからでないと、車を運転してはいけません。また、来年一月一日からはミニバイク（原動機付自転車）の右折方法の変更や初心者ドライバーのための講習

これが時速四十キロメートルで衝突すると約二トンの力関取の「小錦」十人分の力）が加わることになります。しかし、この場合でもシートベルトを正しく着用していれば安全といわれています。

義務だから付けるのではなく「安全のために」着用することを忘れないで下さい。

この他、九月一日施行には迷惑となる騒音を防止する「空ぶかし等の行為の禁止」「初心者ライダー（自動二輪車）の二人乗り禁止」などがあります。また、来年一月一日からはミニバイク（原動機付自転車）の右折方法の変更や初心者ドライバーのための講習

改正道路交通法の主なものの施行期日

改正内容	施行期日
▶シートベルトの着用義務	昭和60年 9月1日
▶初心者ライダーの2人乗り禁止	
▶空ぶかし等の禁止	
▶ミニバイクの交差点における右折方法の変更	昭和61年 1月1日
▶初心者ドライバーのための講習	
▶ミニバイクライダーのヘルメット着用義務	昭和61年 7月5日

国勢調査にご協力を

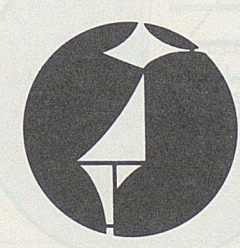
10月1日全国いっせいに行われます

九月下旬から調査員が伺います

調査票の記入のお願いのために、国勢調査員が九月下旬から皆様のお宅にお伺いします。その際に調査票とともに記入方法などを示した「国勢調査についてのお願い」を一緒にお配りします。

調査票はマークシート方式になっています

調査票は、マークシート方式といって調査票に印刷された二ミリ×四ミリの枠（□）内に黒鉛筆で「」のように横線を太く、濃く記入していただくようになっていきます。記入方法や記入に当たっての注意を「国勢調査についてのお願い」に示してありますので調査票を記入する前によくお読みください。また、国勢調査についての疑問、お問い合わせなどについては、調査員または役場・調査企画室等におたずねください。



第10回 北浦科学展

子供たちの理科研究や発明工夫作品を集めた第十回北浦科学展が八月六日から九日まで北浦公民館で開かれました。今年は科学万博関連行事のため開催が早まりましたが、多く作品が展示されました。おもな入賞作品は次のとおりです。

▼理科研究の部

- 村長賞
「植物のじょう散作用は、環境、種類によって大きな違いがあるだろうか」
武田小五年 成田 誠
「飯み物の成分」
北浦中二年 椎名 美保
日下かおり
後谷 晴美

○教育長賞

- 「はなのいろみずにつけんをつけるとどうなるの」
小貫小一年 原 仁美
「日光のあたたかさ」
要小三年 池田 和彦

「シダ植物の観察」

- 北浦中一年 高橋 真帆
勢司 和代
本戸由紀子

「紙ひこうきのとび方」

- 津澄小三年 追田 豊弘
外四名

○教育委員賞

- 「だんごむしのけんきゅう」
三和小一年 なかの ひろみ外七名
「温ためられた水と空気」
北浦中一年 池田 美穂

○教育厚生委員賞

- 「つばめのせいちょう」
要小二年 塙 崇泰
「カビがはえるのはどんなとき」小貫小三学年
「温ためられた水と空気」
北浦中一年 池田 美穂

○議長賞

- 「植物相互の関係」
津澄小六年 横田 一郎
「ろ過の研究」
北浦中二年 野村ゆき江
岡里 文子
山野 恵子

▼発明工夫の部

○村長賞

- 「不思議あじさい七変化」
北浦中一年 平山ひろみ
塙 雅美
「テープストッパー」
武田小六年 倉川 勝
「びつたりゴム手袋」
北浦中三年 斎藤由香里

○議長賞

- 「がたつかないペンケース」
武田小六年 出久根洋二
「便利なかとりせんこうつけ器」
北浦中一年 小沢 達男
遠田 慎一
宮内 忠幸

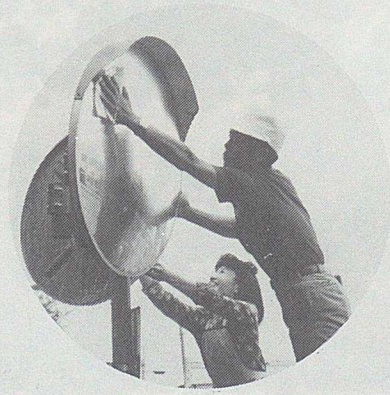
○教育厚生委員賞

- 「べんりなのりつけ器」
要小六年 石橋 徹
「すべりどめつきくつ洗い」
津澄小六年 大和田英明
「家のしきい掃除機」
北浦中二年 根本 英樹
「安全な火花たて」
北浦中二年 久力 一雅

○教育委員賞

- 「のびのびはたき」
小貫小三年 宮崎ひろみ
「便利な風呂ブザー」
津澄小五年 斎藤 利文
「真つすぐ下敷き」

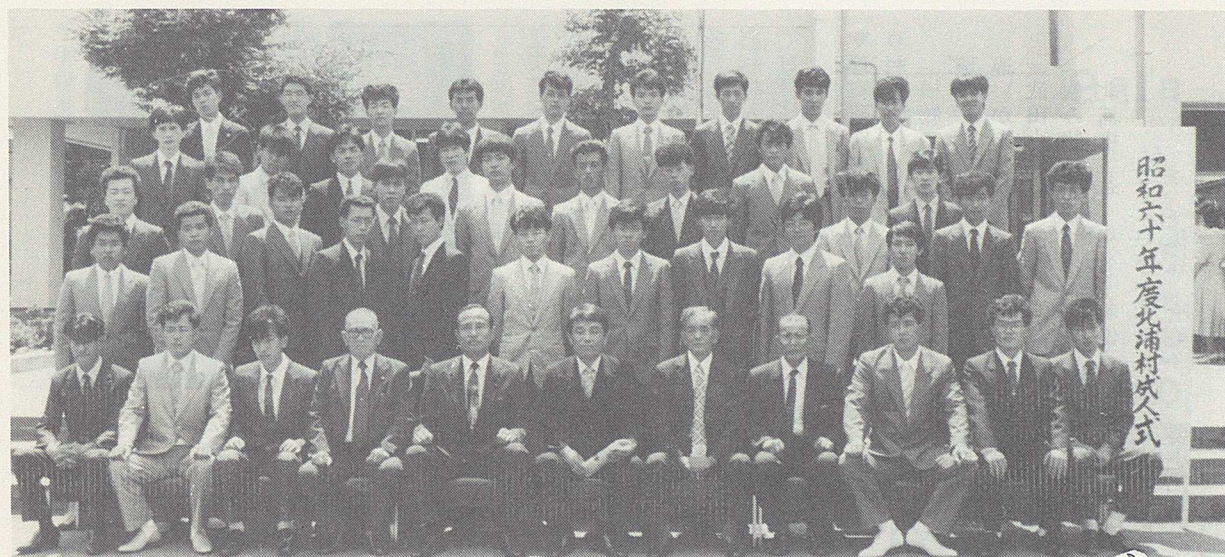
きれいになりました 安全協会・母の会が カーブミラーを清掃



真夏の暑さとなった八月一日、麻生地区交通安全協会北浦支部（支部長斎藤四郎さん）と北浦村交通安全母の会連合会（会長内田智恵さん）のみなさんが、村内カーブミラーの一斉清掃を行いました。

当日は、各地区に分かれ、それぞれ、ぞうきんやクリーナー、それに草刈り用のかまなどを持ちより、二百九十二本のカーブミラーを一日がかりできれいにしました。

- 北浦中二年 茂木 克彦
「一輪ごし用スポンジ」
北浦中三年 亀田かよ子
大原さおり
「べんりな物とり器」
三和小四年 村上 勲
「乾きがわかる洗たく干し」
北浦中一年 東山 勇
「スカートおさえ」
北浦中一年 理崎 早苗
理崎きよみ



昭和六十年度北浦村成人式

恒例の「夏の成人式」も今年で10回目を迎えました。今年も「熱い旅立ち」となりましたが、なつかしい顔に会えたこともあってか皆さんさわやかな気持で成人を迎えたようでした。

成人おめでとう

8月15日
131人が
おとな
大人の仲間入り



昭和六十年度北浦村成人式

野球・バレー・テニス・ジョギング・クロッケーと今ではスポーツを楽しむ人たちが目だつて多くなってきました。そこで、村ではこれまでの村民運動会にソフトボール・バレーボール・クロッケーを加え、第一回村民スポーツ大会として開催して行くことにしました。

第1回 村民スポーツ大会

8月18日
ソフトボール大会
バレーボール大会
9月21日
クロッケー大会
11月3日
村民運動会

▼ソフトボール大会



大会の結果

八月十八日には村民スポーツ大会のはじめとして「ソフトボール大会」「バレーボール大会」が、村内各グラウンド体育館を使って行われました。夏の日射しのもと、各地区の代表として熱戦をくりひろげてくれました。なお、クロッケー大会は九月二十一日に、村民運動会は十一月三日に開催される予定です。

▼ソフトボール大会
優勝 両宿地区チーム
準優勝 小貫下地区チーム
第三位 山田一地区チーム
山田四地区チーム
▼バレーボール大会
優勝 山田四地区チーム
準優勝 繁昌地区チーム
第三位 小幡北地区チーム
中根地区チーム

子どもたちもがんばりました。

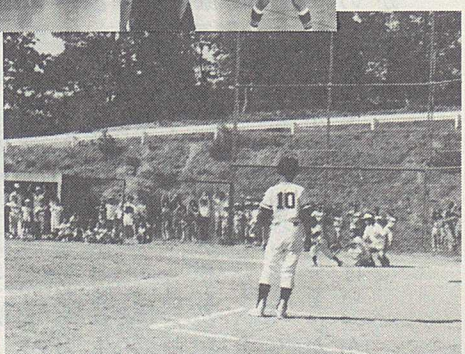
子ども会 球技大会

ソフトボール・ミニバスケット

男の子はソフトボール、女の子はミニバスケット。今年の子ども会球技大会は八月四日に、三和小学校・村民グラウンドで開かれました。ユニホーム姿もカッコよくコートにグラウンドに小さな姿が踊りました。結果は次のとおりでした。

○ソフトボール
優勝 小幡子ども会
準優勝 山田西子ども会
第三位 山田東、成田、長野江子ども会
○ミニバスケット
優勝 三和連合子ども会
準優勝 繁昌子ども会
第三位 吉川、中根、あけぼの・小幡子ども会

スポーツの結果



準優勝 ヤンキーズ
第三位 山田クラブ
全高岡

第6回村内ソフトボール大会
10月6日(日)
参加申込〆切9月25日
●申込み、問い合わせは
体協事務局 5-2693へ

主 昭和六十年度村内野球大会
催 北浦村体育協会
決勝 九月一日・村民グラウンド
優勝 武田キラーズ

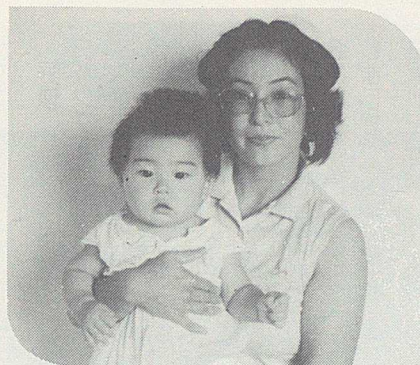
郷里の子どもたちへ

北浦保育園に百万円の遺徳

「ふる里の子どもたちのために役立てて下さい」と本村出身の獣医師、阿須間邦治さん（北浦中学校長）やおいの阿須間利政さん（北浦保育園理事）に打ち明けていましたが、相談の結果、ふる里の未来ある子どもたちのために贈ったものです。この善意は、亡くなった友雄さんに代わり、利政、邦治さん兄弟から藤崎久男理事長、登美子園長に直接

阿須間さんは中根に生まれ戦後水戸市で獣医師を開業していましたが七月十九日に亡くなりました。阿須間さんは日ごろ「生まれた故郷のた

のびのび育て



醍醐亮俊くん（八ヶ月）とお母さんの喜久代さん（小幡）

生まれたときは三千四百二十gでした。二人目の男の子なので少し余裕をもって育てています。やはり、わんぱくでもいいから心のやさしい人になってもらいたいですね。

（八月十九日、育児相談のとき撮影）

手わたされました。

藤崎園長は「阿須間さんの社会福祉への深いご理解に對し感謝いたしております。役員や保母のみなさんと良く相談して有効に使わせていただきます」と語っていました。

善意

北浦保育園へ

○金十二万円也、遊具、植木
大川洋一さん（大洋村大蔵）より

社会福祉協議会及び村善意銀行へ

○金三万円也 のぞみ園父兄会（会長岡里雅子さん）より

○金五万円也 阿須間邦治さん（繁昌）より

○金二万七千九百九十五円也
「白い町ヒロシマ」北浦村上映実行委員会より

○杖十本 方波見和平さん（吉川）より

みなさんのあたたかい

善意ありがとうございます。

ございます。

健康手帳

高血圧予防
シリーズ④



塩分は一日十グラム以下に

欧米にくらべて日本に高血圧の人が多いのは食生活によるのではないかと、いわれています。日本人の食事は、古くからみそ汁、つけ物、塩づけ食品という副食にごはんという取り合せになっています。また、それがおふくろの味として代々受け継がれてきています。しかし、塩分の多い食事を続けてとると高血圧の原因となります。

調味料と塩分

一般におとな一人の一日の塩分摂取量は十グラム以下が望ましいといわれています。

十グラムというと小さじ二杯分ですが、普通みそ汁一杯には約一・五グラムの塩分が含まれています。一日三回みそ汁を飲むと、これだけで四・五グラムとなってしまいます。みそ汁に限らず、塩、しょうゆ、化学調味料など、塩分の大部分は調味料からとられている場合が多く、料理の味付けと塩分は切りはなせない関係にあります。

味つけのポイント

調味料に塩分が多いとなると「塩分はひかえめにしたい、でも全部うす味では…」ということになってしまいます。そこで味つけのポイントとしては、①酸味（レモン）などや香味野菜（しょうが、みつば）などを利用する②かつおぶし、昆布など自然の味を生かし化学調味料をひかえる③全部うす味にせず、一品だけこい味にするなどが考えられますが、この他にもいろいろな方法があると思います。みなさんの食卓でも塩分をひかえる工夫をしてみたいかがでしょう。

ふるさと の歴史

小貫城跡

『武田昌信ノ二子信次、武田源三郎ト称ス、康正元年、小貫砦ヲ築テ此ニ居ル、二子信重、小貫源二郎ト称ス、信之小貫源介ト称ス、去テ下総ニ往ク』——新編常陸国誌巻九 県道土浦大洋線を玉造町方面に向い、原運送店の角を右

▲現在の城跡

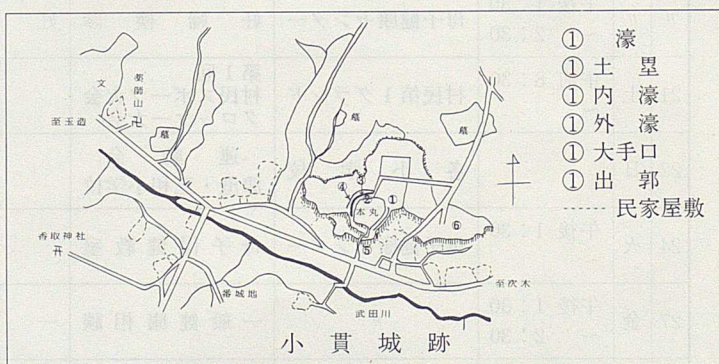


折すると上り坂となります。この道路が村道、銚田道。坂の終る付近で左手の小道を入って行くと、そこに小貫城跡があります。

遺構としては、本丸跡、出郭跡、空堀跡などが残されています。堀は二重堀となっており、今でも確認することができます。また、城の南側を十メートル程の切り落しに整形したり、北西側の谷津を利用するなど、かなり堅固な造りであったことがうかがえます。

新編常陸国誌によると、神明城第四代城主、武田昌信の第二子、武田源三郎信次が今から五百三十年前の千四百五十五年にここに城を築き、三代信之の時代まで居城していたと伝えられています。小貫城は、神明城の支城であり、小貫以西からの備えという意味合いが強いようですが、三代信之以降の詳しい歴史はわかっていません。

今は畑地となっている本丸跡は花畑となっており、撮影時には真っ赤な鶏頭や色とりどりの鳳仙花が咲きほこっていました。



きたうら

（俳句）河野 香苑 選

虫の音とともに漬け込む塩加減
地獄極楽此の場におよんで秋暑く
水打ちて母はまろやかたかなかな
夏祭視線さけあひねり歩く
寡婦という名の古ぼけて鯛雲
茄子畑隣はちがう仕事する

飯島 秀子
高野 三千春
泉 みさ
高野 敬子
土子 文江
松本 正義

飛驒高山 ふれあいの旅

美しい自然と古い歴史の里飛驒高山で、
“秋の高山祭”をみながら、あたらしい
友だちの輪を広げてみませんか。

○参加対象 未婚の男女26名
○日時 昭和60年10月8日（火）～10日（木）
（2泊3日 車中1泊）
○参加費用 10,000円
○問い合わせ先 サークル「K」
北浦村農業委員会
TEL 0291-5-2111

打ち水をすませし縁に風さやか
旅三日たつぷり夏蚕ねむらせて
日焼の子家のなかまで熱気呼ぶ
若いとはうたかたのもの終戦忌
方言をかくして街へ法師蟬
はの齢ははの植えたる枇杷にみる
どの螢からも昔のことばかり
なつかしき女の近くの螢かな
○このコーナーでは、みなさんの投稿をお待ちしています。役場調査企画室「広報きたうら」までお寄せ下さい。

9月のカレンダー

10月1日

茨城県の人口は？

日	曜	時 間	場 所	行 事	備 考
15	日		各 小 学 校	運 動 会 要・武田・小貫小学校	
"	"	午前 8:00 ～	北 浦 中 体 育 館	小学生(親子) バトミントン大会	
17	火	午後 1:30 ～ 2:30	母子健康センター	育 児 相 談	乳 児
18	水	午前 ～	北 浦 中 体 育 館	北 浦 村 三 十 周 年 記 念 式 典	
"	"	午後 1:00 ～ 4:00	北 浦 村 公 民 館	人 権 相 談	お気軽にご 相談下さい。
20	金	午前 ～	北 浦 中 体 育 館	戦 没 者 慰 霊 祭	
"	"	午後 1:30 ～ 2:30	母子健康センター	妊 婦 検 診	妊 婦
21	土	午前 8:30 ～	村民第1 グランド	第1回 村民スポーツ大会 クロッケー大会	
22	日		各 小 学 校	運 動 会 津澄・三和小学校	
24	火	午後 1:30 ～	母子健康センター	母 子 保 健 教 室	
27	金	午後 1:30 ～ 2:30	"	一 般 健 康 相 談	一 般
30	月	午後 1:00 ～	北 浦 村 公 民 館	料 理 講 座	受 講 者
10 / 1	火	昭和60年 国 勢 調 査			
4	金	午前 9:00 ～午後3:00	北 浦 村 公 民 館	献 血	一 般
9月30日(日) ～ 10月1日(火)		集 合 徴 集 国 定 資 産 税 第 三 期 国民年金保険料 第 二 期			

茨城県では昭和60年国勢調査にあたり、次の要領で人口予想懸賞を募集しています。みなさん、ふるってご応募ください。

- 問 題 今年の国勢調査による茨城県の人口(10月1日現在)は何人か、予想して下さい。
- 応募方法 官製はがきに予想人口を算用数字で横書きし、郵便番号、住所、氏名、年齢、職業を明記してください。
- 宛て先 ㊞310 水戸郵便局 局留 国勢調査茨城県実施本部人口予想懸賞係
- 締切り 昭和60年10月7日まで(消印有効)
- 賞 品 1位(1名)携帯用液晶カラーテレビ、2位(3名)ラジオカセット、3位(5名)腕時計、入賞(約100名)県民手帳
- 発 表 今年12月中に、茨城県発表の人口概数により入賞者を決定し、「統計いばらき」新聞等で発表。1～3位は別途通知、入賞者への通知は手帳の発送をもって替えます。

茨城県の人口の推移

年	人 口
昭和57年	2,632,409
昭和58年	2,665,239
昭和59年	2,690,696

— 人口の動き —

住民基本台帳調(7月末)

人 口	11,094
男	5,544
女	5,550
世帯数	2,432
転 入	16
転 出	17
出 生	10
死 亡	5

前号に引き続き、住民アンケートの集計結果を中心にお知らせいたしました。

このアンケートでは、設定された九項目以外に、自由な意見や提案を聞く「自由回答欄」が設けられました。この自由回答欄へは、四百八十人と、全回答者の三分の一近くの方が貴重なご意見を記入してくださいました。

これらのご意見については、今後、村の総合計画に取入れたり、また、他の方法で実現できるものはそれらの方法により、極力、実施に移すよう努力してまいりたいと思えます。

あともうひとつ